

2018年度春 アジア神学セミナー 第3回

近代化とキリスト教 中国の場合

2018/5/21

担当：渡辺 祐子

自己紹介：本学教養教育センター所属、キリスト教研究所所員。専門は近代中国キリスト教史・満洲国におけるキリスト教伝道。所属教会は日本キリスト教会宇都宮松原教会。神学的には保守。政治的にはリベラルでフェミニストです。

はじめに

1. 近代化とはなにか？

・経済

近代社会の経済体制＝資本主義

封建制から資本主義体制へ。中小の生産者層の誕生→民衆の富の蓄積。産業資本家の誕生。(→社会主義へ)

・法

法治主義、三権分立、議会制度

人格の平等、基本的人権の尊重

私的自治、所有権の不可侵、契約の自由

・政治

個人主義、自由主義、民主主義

国民国家 nation state

2. 三谷太一郎『日本の近代とはなんであったか』(岩波新書、2017年)を手掛かりに

ジョージ・サンソム(英国人歴史家・日本史家)

1600年以降のイギリスと日本の政治的発展がなぜここまで異なったのか？

その要因は「自由主義的伝統」の有無であり、「少数者の権利と意見を尊重する一定の伝統」であり、「各個人が他の個人の意見や行動の自由をある程度尊重する」伝統の有無。

三谷「英国の宗教勢力のような対抗勢力を持たなかった日本の中央集権的支配と、宗教勢力を含む有力な対抗勢力からの不断の挑戦にさらされた英国の中央集権的支配との強度さが、それぞれの「前近代」から「近代」への政治的発展に質的な差異をもたらしたと考えられるのです。」(p19)

日本の「近代」に関するこの分析は、政治体制は大きく異なるものの中国にも当てはまる(中国は典型的家産官僚国家)。いま厳しい言論統制の中にある中国で、自由と人間の尊厳のために発言し続けている知識人や弁護士の多くがクリスチャン、あるいはクリスチャンシンパ。

日本でも中国でも、自由、少数者の意見の尊重、人間の尊厳への畏れという意味での「近代化」は、すでに 19 世紀後半に曲がりなりにも始まっていた。それを促したのはほかでもない宣教師。例えばフルベッキ。

3. キリスト教と近代化との関係

- ・ヨーロッパの近代文明、近代法、近代政治原則を紹介
- ・教育
- ・社会福祉事業

近代的人間観の実践の場

4. 外来思想と中国との関係

近代以前の外来思想→中国思想に同化される、もしくは中国思想を補完する（大谷、1993）

近代以後の外来思想＝欧米思想（キリスト教）→中国思想と並列、自立して中国に影響

→ キリスト教の独自性

帝国主義支配との関連

5. 近代中国をどうとらえるか？

時代区分について

中国人自らの手による近代化の達成＝新文化運動（1910 年後半から 1920 年代初頭）

6. キリスト教伝道に付随した近代化諸事業

キリスト教教育

出版事業

技術革新

社会事業

7. 近代化の軋み

宣教師の戦争認識と文明観

不平等条約問題

反キリスト教運動

近代中国キリスト教史重要事項年表

1807年 モリソン来華。

1842年 アヘン戦争終結。南京条約。不平等条約体制の始まり。

1853年 太平天国設立。南京に首都を置き天京と称する。天王=洪秀全。

1856年 アロー戦争（第二次アヘン戦争）。

1858年 天津条約。

1860年 北京条約。アロー戦争終結。

反キリスト教闘争

1862年 同治中興

洋務運動

1870年 天津教案。

1871年 日清修好条規。

1874年 台湾出兵。

1895年 日清戦争終結。=洋務運動の終焉。変法運動の本格化。康有為、梁啓超ら、ティモシー・リチャードら宣教師の影響を受ける。

変法運動と並行して、革命運動も活発化。孫文。

1900年 義和団戦争。

惠州蜂起計画、失敗。

1901年 北京議定書。キリスト教にとって最も有利な条項が盛り込まれた国際条約。

光緒新政(実際に進めたのは西太后)。

1908年 光緒帝、西太后相次いで死去。

1911年 武昌蜂起。辛亥革命。

1912年 清朝崩壊。中華民国成立。孫文、臨時大総統。

1915年 新文化運動（『新青年』発刊）

1919年 五四運動